

コレクションの舞台裏

一光をあてる、掘りおこす。収蔵品をめぐる7つの試み

とき・2/7(土)～5/10(日)

※会期中、一部作品の展示替えがあります。
前期:3/29(日)まで、後期:3/31(火)から

ところ・2階展示室

内容・1982年に開館した埼玉県立近代美術館は、継続的な収集活動により、現在約4200点の作品を収蔵しています。この展覧会では、その中から学芸部スタッフが各々の視点で作品を選び、7つのテーマを設けて、調査研究(リサーチ)の成果をもとに展示します。親しまれてきた名品からあまり知られていない作品にいたるまで、現在の視点からコレクションに光をあて、その新たな一面を掘りおこす試みです。加えて、美術館の主要な仕事である「収蔵品の調査研究」や「教育普及活動」の舞台裏をご紹介します機会にもなるでしょう。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)
※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。



田中保《キュビズムA》1915年 油彩・カンヴァス

《関連イベント》

○担当学芸員によるレクチャー「田中保研究の現在地」
講師・佐伯綾希(当館学芸員)

とき・4/18(土)15:00～16:30(開場は14:30)

ところ・2階講堂/定員・80名(当日先着順)/費用・無料

○学芸部担当スタッフによるリレートーク

① とき・4/29(水・祝)15:00～ ※60分程度

内容・「細田竹 一日常を描く」、「女性たちの小宇宙 一田中田鶴子、草間彌生、奥山民枝」、「MOMASのとびらを開いてみたら」担当・菊地真央(当館学芸員)、佐藤あゆか(当館学芸員)、大島伸夫(当館教育・広報担当課長)

ところ・2階展示室/費用・企画展観覧料が必要です。

② とき・5/4(月・祝)15:00～ ※40分程度

内容・「キスリングとアンドレ・ドラン ー来歴、画商、コレクターをめぐる」、「田中保、アトリエへの招待 ーパリの新発見資料から」

担当・吉岡知子(当館学芸員)、佐伯綾希(当館学芸員)

ところ・2階展示室/費用・企画展観覧料が必要です。

MOMAS コレクション (収蔵品展)

ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※5/28(木)～6/18(木)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

とき・3/7(土)～5/31(日)

◇セクション

シニャック ほか

◇さいぎんのだまもの

近年新たに美術館のコレクションに仲間入りした作品をご紹介します。

◇頭/体

美術を通して表現される肉体の神聖さや物質性、人間の理性と本能をテーマに、コレクションをご紹介します。

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・3月29日(日)15:00～15:30

担当学芸員・大浦周

作品・池田満寿夫《庭を横切る昆虫》1962年

※4月以降の予定は日程が決まり次第、当館ホームページ等でお知らせします。



出店久夫《天上の華》2024年、寒冷紗貼りパネル・ジェッツ・ゼラチンシルバークラウド・写真塗料・アクリル・色鉛筆・ニス仕上げ

とき・6/6(土)～8/30(日)

◇セクション

デルヴォー ほか

◇小村雪岱と谷崎潤一郎

企画展「密やかな美 小村雪岱のすべて」に関連した小特集です。

◇現代のユーモア v2.0

1984年に開催した企画展「現代のユーモア」を手がかりとしながら、芸術表現におけるユーモアを今日の視点からとらえなおします。

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

※6月以降の予定は日程が決まり次第、当館ホームページ等でお知らせします。



木村直道《えび》1971-72年、ホ・フォーク・ナイフ・おもちゃのピストル

第74回 埼玉県美術展覧会 (県展)

とき・5/28(木)～6/18(木)

ところ・地階一般展示室、1階吹き抜け周り、2階展示室・講堂

観覧料・無料

内容・多くの出品点数を誇る県内最大の公募展です。審査によって選ばれた入選作品等、約1800点を展示します。

お問合わせ・埼玉県教育局 生涯学習推進課 TEL048-830-6925

アート体感ワークショップ

MOMASのとびら

フリープログラム以外は、全プログラム事前予約制です。当館ホームページからお申込みください。

《5月のプログラム》

5月分のお申込みを4/1(水)から受け付けます。

○もますまつり ※事前申込み不要

とき・5/2(土) 10:30～12:00、14:00～15:30

対象・どなたでも/費用・無料

※ゴールデンウィークに行うフリープログラムの拡大版です。

○彫刻あらいぐま

とき・5/16(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生+保護者/費用・無料

○み〜っけ!

とき・5/30(土) 13:30～15:00

対象・4～6歳(未就学児)+保護者/費用・無料

《6月のプログラム》

6月分のお申込みを5/1(金)から受け付けます。

○み〜っけ!

とき・6/6(土) 13:30～15:00

対象・4～6歳(未就学児)+保護者/費用・無料

○みる+つくる

とき・6/13(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生/費用・500円

《7月のプログラム》

7月分のお申込みを6/1(月)から受け付けます。

○フリープログラム ※事前申込み不要

とき・7/4(土) 13:30～15:00

対象・どなたでも/費用・無料

○みる+つくる

とき・7/18(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生/費用・500円

※応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。

※名称が同じプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みできますが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとなります。

「MOMASのとびら」のページ

<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



一般展示室 (地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆3/31(火)～4/5(日)

埼玉の画家 父娘展 …………… 一般展示室4

◆4/7(火)～4/12(日)

主体美術武蔵野作家展 …………… 一般展示室2～3

第43回漢水会展 …………… 一般展示室4

◆4/14(火)～4/19(日)

第20回フォト・トルトゥーガ写真展「光と影の記憶 -2026」 …………… 一般展示室2

◆4/14(火)～4/26(日)

ありあるクリエイションズ芸術企画ヨシズミトシオ個展 …………… 一般展示室4

◆4/21(火)～4/26(日) ※日程変更の可能性あり

写真と版画の風景展 …………… 一般展示室3

◆4/23(木)～4/26(日)

第49回女流工芸展in埼玉 …………… 一般展示室1

◆4/28(火)～5/3(日・祝)

第29回二科埼玉支部展 …………… 一般展示室1～4

ミュージアムショップおすすめ商品

スタイリッシュなのにかわいいと定評があるチャールズ&レイ・イームズのエレファントチェアをご紹介します。小さくなってかわいなおブジェになりました。こどものおもちゃ、リビングや玄関の飾りとして、身近におくのはいかがでしょう。存在感のある贈り物としてもぴったりです。



イームズ エレファントスモール
デザイン: Charles & Ray Eames
チャールズ&レイ・イームズ
サイズ:幅205 奥行390 高さ210
素材:ポリプロピレン マット仕上げ
¥13,000+税(¥14,300)

令和7年度 公募展 報告

みつめて、かんじて、たべてみて! — 作品のみかた・味わいかた

令和7年度 公募展「みつめて、かんじて、たべてみて! — 作品のみかた・味わいかた」は、3年目を迎え「美術作品を鑑賞して、食として表現する」という観点で作品の募集を行いました。当館の所蔵作品である課題作品4点 ①ポール・シニャック《アニエールの河岸》1885年、②木村直道《シンバルを叩く男(バックミラー楽団)》1965-68年、③橋本真之《果実の中の木もれ陽》1985年、④デルイェ・エクストレム《エクストレム》1984年(製品化)から1点を鑑賞して湧き上がった「食」のイメージ(食感、味や匂いなど)を、感性を働かせて自由な発想で絵にして表現するコンクールです。令和7年度は県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒から、73点の応募がありました。厳正な審査の結果、9作品が受賞作品に選ばれました。おめでとうございます。また、たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

そして一昨年から審査員を務めていただいているアーティスト・ユニットL PACK の小田桐愛氏と中嶋哲矢氏により、総合グランプリ(審査員特別賞)に選ばれた久間梨香子さんの「にっこりほっこりパスタ ～宇宙味～」が食べ物として創作され、試食イベントを11月16日の表彰式後に開催しました。久間さんは課題作品の橋本真之の《果実の中の木もれ陽》を鑑賞し、作品の形、特に穴が開いている形態に着目しました。木の間から光がさす様子から作品の題名にあるような「木もれ陽」を感じたそうです。

L PACKの中嶋氏は講評の中で、「うねうねとした造形が特徴の橋本真之の作品ですが、金属の曲線が人が宇宙の無重力空間で自由自在にふわふわと動く様子として捉えた着目点が素敵です。また穴から見えるさまざまな背景や丸い形を果実や宇宙に漂う惑星に見せてくれる解釈にもびっくりしました。そこから発想したパスタはどんどんと増殖していく橋本の作品のよう。紙全体に描かれた迫力と、カラフルな色使いが、丸の向こう側まで細かくよくかけた可愛い作品です。」と述べています。

審査会後、L PACKのお二人は、約1カ月の準備期間をかけて、久間さんの作品の主題を色や形、食材で見事に表現し、誰もが味わったことのない七色の宇宙味パスタを創作してくださいました。「フルーツが大好き」という久間さん。L PACKのお二人は着色料を使わず自然の素材からパスタに色をつけ、七色のフルーツ味に仕上げました。

「未体験のパスタでアート味体験(みたいけん)になっちゃった?!」そんな会話の聞こえる試食イベントになりました。

深い鑑賞によって、見ても食べても新しい発見がある。この公募展は、令和8年度も課題作品を変えて、同じく「食」をテーマに開催予定です。ぜひ、公募展をきっかけとして、埼玉県立近代美術館を訪れてみませんか。美術館の作品を、諸感覚を使って感じてみましょう。

現在、過去3年間の総合グランプリ受賞作品とイベントの様子を企画展「コレクションの舞台裏」第7章にて展示中です(5月10日まで)。ぜひご覧ください。(O.N.)



課題作品となった屋外彫刻の前で、総合グランプリ受賞作品パネルと実際に創作したパスタを持つL PACKの2人。



試食イベントの様子。受賞者とその家族、学校の先生が参加しました。

「頭/体」より一志賀直哉と「頭部」について

ホラー映画のジャンルの一つに、肉体の破壊、変容の不安、恐怖、快楽を描く「ボディホラー」があります。近年でも「TITAN」(2021)、「サブスタンス」(2024)といったボディホラーの良作が製作され続けており、肉体の変容の表象は、今なお多くのファンに親しまれています。ボディホラー作品はグロテスクで悪夢的なビジョンを示すものが目立つ一方、時には「肉体からの解放」、「聖性」といった、必ずしもネガティブなだけではないテーマを示すものも存在します。「頭/体」と題したこの度のコレクション展示は、こうした肉体的変容に伴うボディホラー的感覚を、近現代美術のなかに見出そうとする試みでもあります。本稿では、近代日本の文芸誌における「首」についてのエピソードの一つをご紹介します。

明治大正期の知識人層の若者には、キリスト教徒、とりわけプロテスタント信者となる者が多くいました。志賀直哉も例外ではなく、その活動の初期を敬虔なプロテスタント信者として過ごしました。当時の志賀は、草稿「人身発達の理想的理想」において、肉欲、食欲、情欲といった喜ばしくない情欲を呼び起こすのは「首より上部をのぞきし我他の肉体之れなり」であるとし、「白く捨てよ 首以下の部分を 頭部のみになれよ」と語ります。もちろんこれは、キリスト教的、理性的な生き方を説くメタファーに過ぎませんが、後に志賀が、短編小説「剃刀」(床屋が商売道具で客の首を切る物語)を執筆していることには、どこか不思議な縁が感じられます。偶然にも「剃刀」が掲載された『白樺』第1巻第3号にはマックス・クリンガーの彫刻《サロメ》が巻頭図版に据えられており、またオーブリー・ピアズリー特集号である本号にはピアズリーによる、洗礼者ヨハネの首を持つサロメの作品も掲載されました。さらに、後に志賀は、ピアズリーによる詩「床屋のバラッド(The Ballad of a Barber)」と自作の「剃刀」が一志賀の意図とは無関係に一似通った内容であることを知ることになります(「創作餘談」1928年)。この関係性のなかに一貫したストーリーを読むとすれば無理が生じますが、人間の「頭部」にまつわる聖と俗の物語が、『白樺』誌上に混在し、見え隠れしている様は興味深い事例といえるでしょう。

本展示では、磔刑後のキリストの顔貌を描いた里見明正の《聖骸布》、空中に浮いたパンを描いた早瀬龍江の《願望》、瑛丸による顔を隠した、あるいは顔のない肉体のコラージュ、などの作品を展示する予定です。頭部のみが表された美術、あるいは頭部を欠いた人体を表した作品を集めることで、私たちが「頭部」に対して抱いてきた幻想 一神聖なもの、理性的の象徴など一や、あるいはその反対に「頭部」を欠いた人体の物質性、夢を彷彿させる無意識的なイメージなどを、コレクションを通して体感して頂けましたら幸いです。(N.M.)



ROBERT ROSS「AUBREY BEARDSLEY」(1909年)より、挿図オーブリー・ピアズリー「THE DANCER'S REWARD」



瑛丸《作品IV》1937年 コラージュ・紙



早瀬龍江《願望》1953年 油彩・カンヴァス